

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

SHIONOGI Group V

新たなプラットフォームでヘルスケアの未来を創り出す

新製品上市数
10製品以上ワクチン売上
1,000億円

② 中長期の経営戦略

1. HIVビジネスの更なる伸長

ヴィーブ社による経口2剤合剤や長時間作用型製剤の販売促進。Cabenuva・Apretude推進、超長時間作用型製剤開発

2. 急性呼吸器感染症事業

COVID-19とインフルエンザの治療薬保有を活かし、エンシトレルビルのエビデンス構築、診断薬開発によるTest to Treat具現化

3. 新製品・新規事業拡大

現在の開発パイプラインから2030年度までに10製品以上の上市。ワクチン事業で2030年売上1,000億円成長を目指す

4. HaaS企業への変革

医療用医薬品を中心とした創薬型製薬企業からヘルスケアサービス提供企業へ転換。デジタル治療用アプリやAIプログラム医療機器開発

③ 対処すべき課題

① 感染症の脅威からの解放

- ・ 60年以上の感染症研究をベースに未病・予防・診断を含むトータルケア提供
- ・ COVID-19パンデミック終結と次の変異株・パンデミック対策のユニバーサルワクチン創製
- ・ AMR対策としてのシデロフォアセファロスポリン抗菌薬開発とアクセス改善への取り組み

② 健やかで豊かな人生への貢献

- ・ QOL疾患（認知症・肥母症・子どもの疾患・睡眠障害）への注力領域拡大
- ・ 不眠症治療薬クービビック、ADHD治療用アプリENDEAVORRIDE、認知機能検査AI開発

③ 主力製品特許切れへの対応

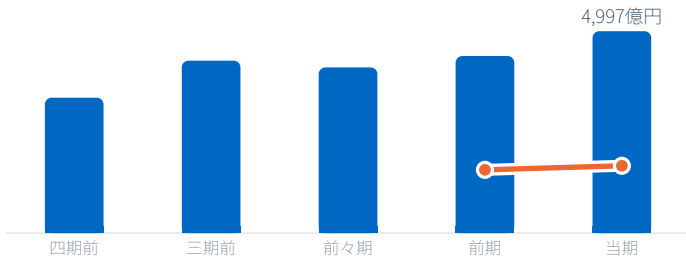
- ・ 医療用医薬品ビジネスの特許クリフリスク対策として創薬型からHaaS企業への変革
- ・ 新製品パイプライン拡大と多角化による持続可能なビジネスモデル構築

面接で使えるポイント

- ・ STS2030 Revisionで感染症領域のグローバルトップラインを目指し、COVID-19やインフルエンザ治療薬…
- ・ 創薬型製薬企業からHaaS企業への変革を目指し、デジタル治療アプリやAI医療機器の開発により患者ニーズに寄り添う姿勢
- ・ AMR対策として世界初のシデロフォアセファロスポリン抗菌薬セフィデロコルを創出し…

証券コード 4507

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
4,997億円営業利益率
33.4%財務健康度
91点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 72.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,030万円

医薬品内 16位/80社

平均年齢
42.4歳

医薬品内 59位/80社

平均勤続
15.6年

医薬品内 15位/80社

女性管理職
17.1%

医薬品内 19位/41社

男性育休
74.0%

医薬品内 23位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 高病原性鳥インフルエンザ(H7N9)に対するバロキサビル

